

今後其学ニ於テ新ニ教員ヲ任用候節ハ学力ノ適否ハ勿論年齢品行等教育令第卅七条ニ基キ殊ニ品行之儀ハ当省本年第廿六号府県達教員品行檢定規則ニ準拠シ並ニ詳細取調ノ上其適當ノ旨其他ノ事状共記載シ進達可致尤履歷書差副候儀ハ従前之通可心得此旨内達候事

明治十四年十二月十二日 文部卿 福岡孝弟

菊池武夫兼雇之義司法省エ之御照会ハ左案之通ニ而可然哉

司法省雇 菊池武夫

右本学法学部学生教導之義毎週六時間宛相托度候ニ付而ハ本学雇兼勤申付御差支無之候哉此段及御照会候条何分之御回答有之度候也

明治十四年十二月十日 東京大学総理 加藤弘之

司法書記官御中

当省雇菊池武夫義法学部学生教導之義毎週六時間程御託相成度旨ニ付去ル十日附御照会之趣致承知候右ハ当省勤務ニ支障無之候様兼務相成候得ハ別段差支無之候条此段及御回答候也

明治十四年十二月十三日

司法権大書記官 黒川誠一郎

東京大学総理 加藤弘之殿

126 教員任用の節取調書・履歷書進達の件内達(抄)

(明治十四年十二月十二日)

(朱書)
〔職四〕百七十九号〕

東京大学総理

然哉

菊池武夫教導時間之義ニ付司法省エ之照会ハ左之通ニ而可

御省御雇菊池武夫エ法学部学生教導之義毎週六時間程囑託致度段及御照会候処右ハ御省勤務ニ支障無之様兼務相成候得ハ差支無之云々御回答之趣領承本学於テハ右日時之義ハ如何様ニモ差操相成候事ニ付毎週月火水金土之内御省於テ御差支無之日時ニ而六時間丈御取調御申越有之様致度此段更ニ及御照会候也

明治十四年十二月十四日 東京大学総理 加藤弘之

司法権大書記官 黒川誠一郎殿

菊池武夫授業時間之義司法省へ之再御照会ハ左之通ニ而可

然哉

去十四日付ヲ以テ御省御雇菊池武夫エ法学部学生教導相託し度就テ御省於テ御差支無之日時ニ同人本学へ出頭之時間御取調御申越之義御照会申進候処右ハ至急之事ニへ可成速ニ何分之御報答有之様いたし度此段更ニ及御照会候也

明治十四年十二月廿日 東京大学総理 加藤弘之

司法権大書記官 黒川誠一郎殿

菊池武夫本学エ出頭方左案之通司法省エ御照会可相成哉

御省御雇菊池武夫儀本学雇兼務申付度件ニ涉リ御照会および候処御差支無之趣ニ付而ハ来ル廿六日午前之内本学エ出頭候様同人エ御達シ御取計相成度此段及御照会候也

明治十四年十二月廿三日 東京大学総理 加藤弘之

司法書記官御中

菊池武夫兼雇之辞令案ハ左之通ニ而可然哉

司法省雇 菊池武夫

東京大学雇兼勤申付候事

猶手当一ヶ年金四百八拾円給与候事

副辞令

東京大学雇 菊池武夫

法学部講師可相勤事

明治十四年十二月廿六日

(後略)

〔文部省往復簿〕明治十四年度 ㊦ A 43